

# ガスの基礎知識 ハンドブック

保存版

安心してガスをお使いいただくために

岡山ガスをご利用いただきありがとうございます。  
この冊子は、都市ガスを安全快適にお使いいただくための  
手引きです。ご一読いただいたのち、わかりやすい場所に  
保管してください。



## << 目次 >>

ガスの種類について	P1
ガス機器ご使用時の換気について	P2
日頃のお手入れと注意点	P3
給排気設備の注意点	P5
ガス機器の正しい接続	P7
[業務用] ガス機器をご使用の方へ	P9
[業務用] 日常のお手入れ、点検	P11
[業務用] 業務用ガス安全システム	P13
マイコンメーターでガスが止まったとき	P15
大きな地震のとき	P16
ガス設備の所有区分	P17
安全点検ご協力をお願い	P18
長期使用製品安全点検制度	P19
安全型機器、機器修理のご依頼について	P21
ガス工事やガス機器に関するご相談窓口	P22
ガス臭いと感じたとき	裏表紙



岡山ガスHP



岡山ガス

# ガスの種類を知って 正しく使用しましょう

お届けしているガスの種類は…

お届けしているガスは**13A**です。  
都市ガスは全国で4種類あります。

## ⚠️ ご注意

お届けしているガスには、有毒な物質である一酸化炭素(CO)は含まれておりませんが、**取扱いを誤ると一酸化炭素(CO)中毒や爆発などの危険性があります**のでご注意ください。

ガス機器はガスの種類と合うものを!

## ⚠️ ご注意

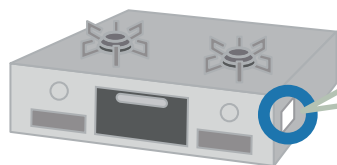
ガス機器がガスの種類と合っていないと、**正常な燃焼をせず、有毒な一酸化炭素(CO)が発生して、中毒などの原因となります**から大変危険です。

一酸化炭素(CO)中毒の初期症状として、頭痛、吐き気、気分が悪いなど、風邪に似た症状が現れます。症状が重い場合、死亡事故につながる恐れがあります。

ガス機器には、適応するガスの種類を示したラベルが貼られています。

- 新しくガス機器をお買い求めになるとき
  - 今までご使用されていなかったものをお使いになるとき
- ガス機器がガスの種類と合っているか必ずご確認ください。

※お引越しの時には特にご注意ください。



AB-120-(a)1 → 型式  
都市ガス用13A → **適応するガスの種類**  
000kW(000kcal/h) → ガス消費量  
200907-0001 → 製造年月・製造番号  
000株式会社 → メーカー名

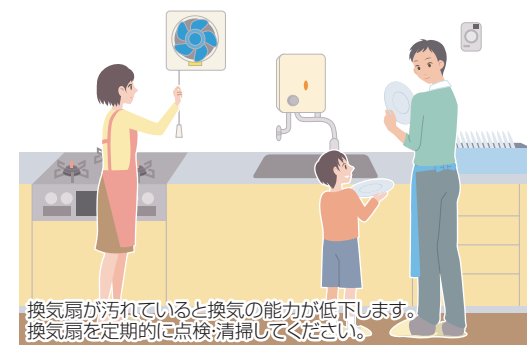
# ガス機器ご使用時は 換気をしましょう!

ガス機器は新鮮な空気を求めています

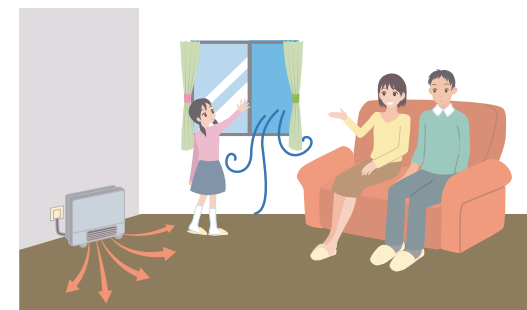
## ⚠️ ご注意

ガス機器が劣化していたり、換気が不十分な状態でガスが燃焼すると、不完全な燃焼となり、同時に有毒な一酸化炭素(CO)が発生し、中毒となる恐れがあります。

- キッチンで  
ガスコンロや小型湯沸器をお使いになる時は、必ず換気扇を回すか、窓を開けて換気しましょう。使用中に火が消える場合は、点検修理をお申し込みください。



- お部屋で  
ガスストーブ・ガスファンヒーターをお使いになる時は1時間に1~2回程度、新鮮な空気に入れ替えましょう。



もしものための見張り番

## ●ガス・CO警報器

万一ガス漏れや不完全燃焼による一酸化炭素(CO)が発生した場合、ランプと警報音でお知らせします。火災が発生したときにお知らせする機能のついた警報器もあります。警報器の有効期限は5年です。期限が過ぎる前に岡山ガスまたは最寄りのサービスショップに連絡し、必ず交換しましょう。



# 日頃のお手入れと注意点

お客さまご自身で行っていただく必要があります。

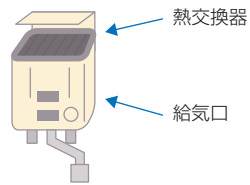
ガス機器の安全なご使用、日常管理については、取扱説明書をよく読んでいただき、その内容を理解し、ご使用いただくことが大切です。

ガス機器ご使用時に不快な臭い、炎のあふれ、機器本体の異常な過熱、異音、排気口の周辺がすすけているなどがあれば、ただちに使用を中止し、岡山ガスにご連絡ください。

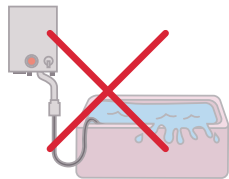
## ⚠️ ご注意

### 小型湯沸器

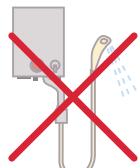
- ときどき上部（防熱板の下）の熱交換器に汚れや詰まりがないかチェックしてください。  
※使用中に火が消える場合は販売店に点検・修理（有償）をお申し込みください。
- 小型湯沸器の長時間使用は不完全燃焼の原因となり、大変危険です。絶対におやめください。



詰まりがないか  
チェックしてください。



浴槽、洗濯機への給湯は  
おやめください。



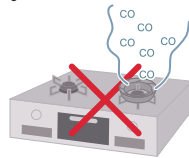
シャワー、洗髪は  
おやめください。

### ガスコンロ

- バーナーが目詰まりしていると不完全燃焼の原因となる可能性があります。ときどき器具ブラシなどでお掃除してください。
- 揚げ物をしているときやグリルを使用しているときは、その場から離れないことが大切です。  
来客や電話などでその場から離れるときは必ず火を止めてください。
- 使用中にはコンロの火が着衣に着火しないようご注意ください。



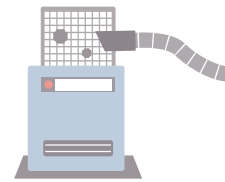
火災の原因になります。



メーカー純正品以外の部品（ガスコンロ用省エネルギーなど）の使用は、不完全燃焼による一酸化炭素（CO）中毒を起こす原因となる場合があります。

### ガス暖房機器

- F F 暖房器、ファンヒーターは裏側のエアフィルターのお掃除をしてください。
- ガストーブやファンヒーターの付近には、スプレー缶や衣類など燃えやすい物は置かないでください。
- 小さなお子さまがいるご家庭ではやけどなどにご注意ください。



火災の原因になります。



低温やけどになる恐れがあります。

- 金網ストーブをお持ちのお客さまへ  
金網（赤熱部分）に変形・やぶれなどがある場合、不完全燃焼をおこし、一酸化炭素（CO）中毒の原因となる恐れがあります。不完全燃焼防止装置付のガスファンヒーターなどへお取り替えをお願いします。

### 衣類乾燥機

- 油分の付着した衣類を衣類乾燥機で乾燥させると、油の酸化発熱により、自然発火する恐れがあります。特に、ポリプロピレン繊維製の衣類や下記の油分が付着した衣類は洗濯後でも絶対に乾燥機で乾燥させないでください。

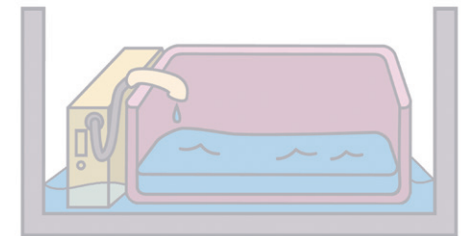


油分が付着した衣類は乾燥させない

●美容オイル（ボディオイル、エステ系のオイルなど）	●食用油、機械油、動物系油
●ドライクリーニング油、ベンジン、シンナー	●ガンリン、樹脂（セルロース系）

### ガスふろがま

- 浴槽に水を張っていない状態で点火すると、ガスふろがまや浴槽を傷めたり、火災の原因にもなります。また、ふろがまが水につかると故障の原因となるため、排水口は時々お掃除してください。
- B F 式風呂釜で何回も点火操作しないと口火（種火）がつかなくなった場合には、機器内に未燃ガスがたまり、爆発着火して大変危険です。機器が損傷する場合があります。点火しにくくなった場合には販売店に点検・修理をお申し込みください。

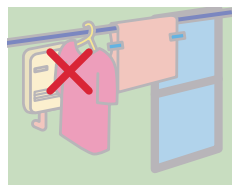


# 給排気設備の注意点

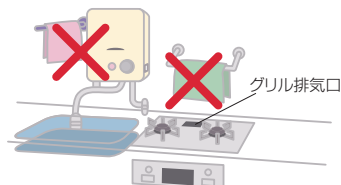
## ⚠️ご注意

ガス機器の排気口や周辺に可燃物を置かないで!

- 排気口や周辺に可燃物を置くと火災の恐れがあります。ガス機器は取扱説明書の記載に従い、周囲との離隔距離をとってください。

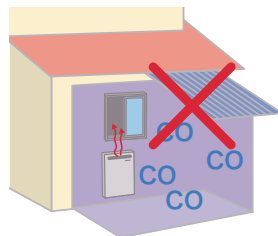


機器側方や上方にはタオル掛けなどは設置しないでください。



増改築や塗装工事のとき

- 屋外に設置されたガス機器を増改築により屋内化したり、波板などで囲うことは大変危険です。
- 増改築工事などで排気筒を取り外したり、塗装工事などで給排気設備をビニールシートで覆った場合は、ガス機器を使用しないでください。



FEまたはFFの排気（給排気）トップ



玄関ドアの通気口や、ふろがまの給気口



換気扇のウェザーカバー



BFがまの給気トップ



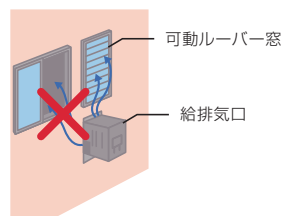
屋外式給湯機



新鮮な空気が不足し、不完全燃焼による一酸化炭素(CO)中毒や、ガス機器の故障の原因となります。

機器及び給排気口の上方に窓があるとき

- 屋外で給気と排気を行う、これらのタイプのガス機器でも、窓や換気口などの建物開口部から排気が室内に流入し、不快なおいびりや気分が悪くなる恐れがありますので、ガス機器使用中は、付近の窓を必ず閉めてください。設置状況によっては、ガス機器の移設などが必要な場合があります。



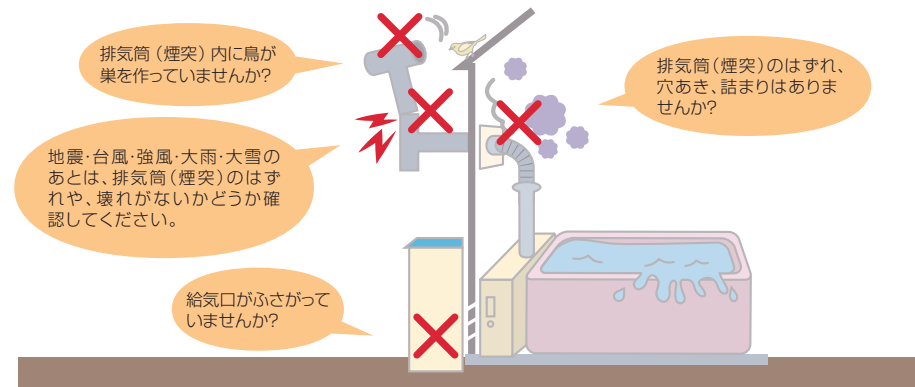
屋内にガスふろがま・湯沸器などを設置するとき

- 法令により適正な給排気設備の設置が義務付けられています。工事は国で定められた資格が必要です。
- 屋内には屋内用のガス機器を設置してください。
- 施工後、正しく設置されたことを表示したラベルが貼付されていることをご確認ください。(小型湯沸器を除く)

## ⚠️ご注意

排気筒(煙突)はときどき点検を

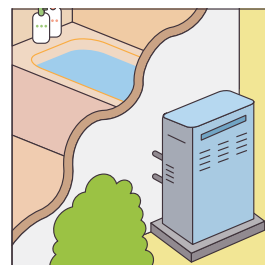
- 排気筒(煙突)が詰まっていると、不完全燃焼を起こし、一酸化炭素(CO)中毒の原因となる可能性があり大変危険です。



隠ぺい部に設置されている排気筒(煙突)も点検してください。  
隠ぺい部に設置されている排気筒(煙突)の腐食による穴あきやはずれにより、排気ガスが室内に入り込み、一酸化炭素(CO)中毒を起こす可能性があります。

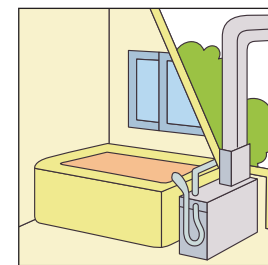
## おすすめします、安全型機器

ガス給湯器・ふろがまは、安全な屋外設置をおすすめします。  
屋内設置の場合は、密閉式もしくは不完全燃焼防止装置付きが安心です。



<屋外設置式>

機器を屋外に設置、排気筒(煙突)などが不要なく、最も安全な機器です。



<密閉式>

空気を屋外から取り入れ、排気も屋外へ排出するため、室内の空気を使わず安全な機器です。

<不完全燃焼防止装置付きの機器>

換気不足やホコリ詰まりによる不完全燃焼を感知し、ガスを自動的にストップします。

# ガス機器は正しく接続しましょう

お持ちのガス機器の接続口の形状を確認のうえ、正しく接続してください。

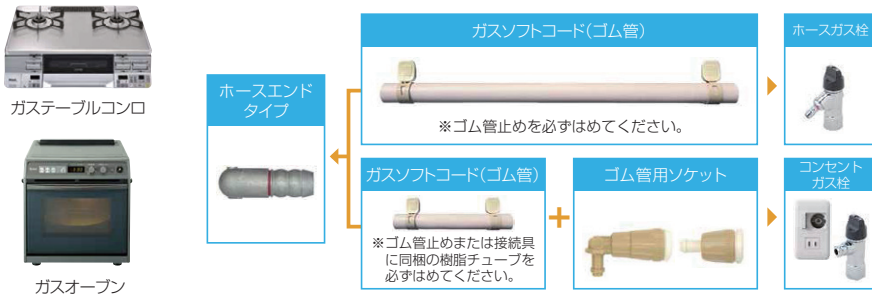
※ご紹介している接続例は一例です。ご不明な点は岡山ガスにお問い合わせください。

## ⚠️ ご注意

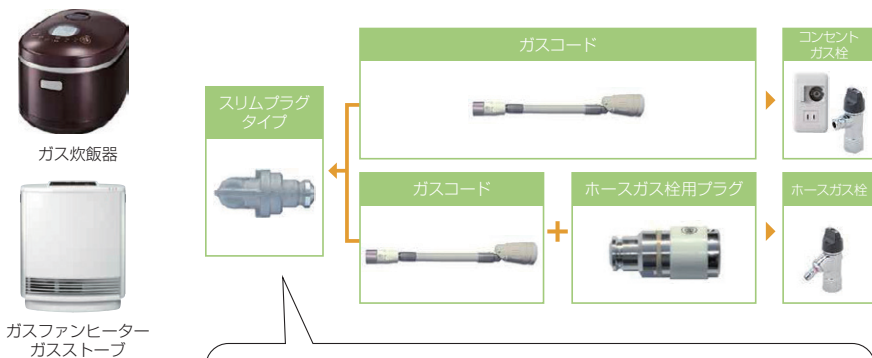
### 無理な接続はガス漏れ、火災等の原因になります

接続する場合には、ガス機器及び接続具の取扱説明書をよく読んでいただき、その内容を理解し、ごみなどの異物がないことを確認して、確実に接続していただくことが大切です。

## 機器の接続口がこのタイプときは



## 機器の接続口がこのタイプときは



●スリムプラグタイプの場合はガスコードで接続してください。  
ゴム管や機器用ソケットなどを使用すると、ガス漏れ、火災等の原因になります。

## 正しく接続して安全に!

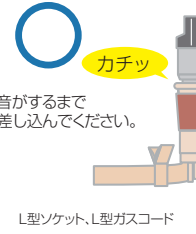
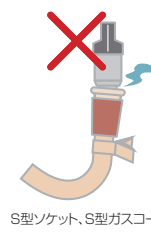
### ⚠️ ご注意

- ガス栓  
ガス機器が接続されていないガス栓を誤って開けないでください。
- ゴム管止め  
ゴム管が抜けないようにゴム管止めをご使用ください。
- ガスソフトコード  
ガス用ゴム管は耐久性に優れたガスソフトコード(白色系)をご使用ください。
- ガス栓キャップ  
使わないガス栓にはガス栓キャップをかぶせてください。
- ひび割れや固くなったものはお取り替えください。
- 古いゴム管はお取り替えください。
- ゴム管は赤い線までキッチリ差し込んでください。  
赤い線がない場合は接続方法が正しくない可能性があります

- ガス栓とガス機器をガスソフトコードやガスコードで接続する際は、必ず機器側をはじめに接続してください。

- 接続面にごみなどの異物がないことを確認して確実に接続してください。

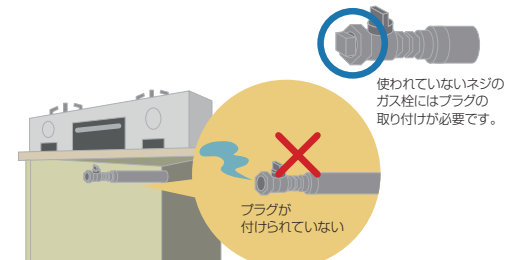
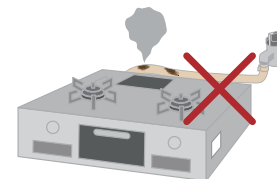
- ソケットに無理な力がかからないよう適切な種類を選んでください。



※音がするまで差し込んでください。

- ゴム管は、ガス機器の高温部(ガスステープルコンロの下など)に近接させないように接続してください。

- 不使用のネジガス栓には、プラグを取り付けてください。誤ってガス栓が開いた場合に危険です。

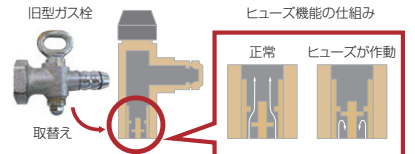


- ゴム管は、適切な長さで使用してください。

※プラグが取り付けられていない場合は岡山ガスにご連絡ください。

## ヒューズガス栓への取替えをおすすめします

- 万一ゴム管がはずれたり、途中で切れたりしたとき、自動的にガスが止まります。
- 旧型ガス栓をお使いのお客さまは、ヒューズガス栓への取替えをおすすめします。



※新しく取り付けるガス栓はヒューズガス栓になっています。

# 業務用にガス機器をご使用の方へ

ガス機器ご使用時は必ず換気を!ガスが 燃焼するには、新鮮な空気が必要です

## ⚠️ 警告

ガスが燃焼するには、多量の空気(酸素)が必要です。ガス機器ご使用時は必ず換気装置を動かしてください。新鮮な空気が不足すると不完全な燃焼となり、有害な一酸化炭素(CO)が発生し、中毒や死亡事故につながる恐れがあります。

## ⚠️ こんなに怖い! 一酸化炭素中毒

- 一酸化炭素(CO)は、無色・無臭で感知しにくい気体ですが、毒性は強力です。
- 軽い中毒症状は風邪に似ています。頭痛、吐き気、気分が悪いなどの症状を感じたら、ただちに使用をお止めください。
- 手足がしびれて動けなくなることもあります。
- 重症になると、脳神経細胞を破壊したり、意識不明や死亡に至ることがあります。

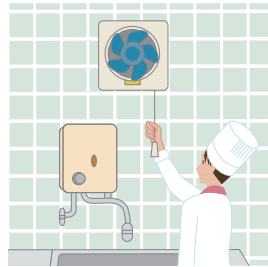
※店舗経営者・厨房責任者のみなさまは、アルバイトの方を含め、日頃ガス機器をご使用になるすべての方に安全なガスのご使用方法の周知をお願いいたします。

## 1人1人が換気を確認

- ガス機器を使用中は換気扇、排気ファン等で常時換気を行ってください。

## 「業務用換気警報器」設置のすすめ

- 飲食店等の厨房で、業務用ガス機器をご使用のお客さまに「業務用換気警報器」の設置をおすすめしています。業務用換気警報器は、一酸化炭素(CO)の発生を検知すると音声でお知らせし、換気を促す警報器です。※ガス漏れ警報機能はありませんので、ガス警報器も併せて設置をおすすめします。



業務用換気警報器

## 特殊な機器を使用するとき

- 圧縮ガスなど(酸素・空気など)を併用するときは、岡山ガスにご連絡ください。

## 理・美容院、工場などで特殊な薬品をご使用の場合は

- 理・美容院、クリーニング店、特殊な薬品を使用する工場などで、腐食性ガスが発生する場所には、室内の空気を使う開放型および排気筒型ガス機器を設置しないようにしてください。
- 室内の空気を使わない密閉式ガス機器、屋外用ガス機器をおすすめします。

## 排気ダクトは動いていますか

- 換気装置が稼働している時間内でガスをご使用ください。
- 排気ダクトなどにより共同換気を行っている建物では、特にご注意ください
- 照明スイッチと換気扇、排気ファン等のスイッチを連動させると、換気を忘れることなく安心です。

## 湯沸器をご使用の際は特にご注意ください

- 必ず換気扇等で換気されていることをご確認ください。
- 特に仕込み、後片付け等で湯沸器をご使用になるときも換気を忘れないようにしてください。
- 大きな厨房室などでは、お湯を使用されている場所と湯沸器を設置している場所が離れている場合があります。換気装置が作動していることを必ずご確認ください。

## 給気口の前には、物を置かないで

- 給気口は、新鮮な空気を補給する大切なもの。絶対にふさがないようにください。ガス機器ご使用中にイヤな臭いがしたり、目にしみたりしたら、ただちにガス機器の使用を中止してください。窓や扉を開けて空気を入れ替え、すぐに岡山ガスにご連絡ください。



# お手入れ、点検されていますか？

日常、お客さま自身で行っていただく必要があります

ガス機器など…1年に1回以上メーカーの点検をうけることをおすすめします

## ⚠️ ご注意

- ガス機器ご使用の際には取扱説明書をよく読んでいただき、安全なご使用と日常管理を行っていただくことが大切です。
- ガス機器ご使用時に、不快な臭い、炎のあふれ、機器本体の異常な過熱などがある時には、使用を中止し、岡山ガスにご連絡ください。

## ガスの炎をチェック

- バーナーはワイヤーブラシなどで時々掃除してください。
- 正常な炎で燃えるよう、空気口の調節をしてください。
- 点火・消火の際は必ず目で確認する習慣をつけましょう。
- 点火棒を使用する場合は、点火棒に火をつけてから器具栓を開いてください。



異常な炎

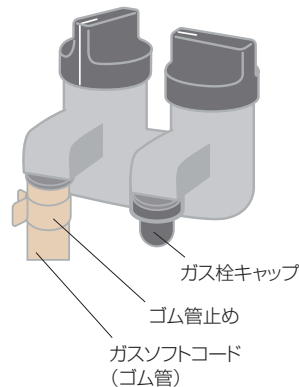


正常な炎



## 接続具の安全チェック

- ゴム管をご使用の場合は、ゴム管止めをご使用ください。
- ゴム管は古くなると、ひび割れなどをおこしてガス漏れの原因になります。
- 特に、炎に近い場所にあるゴム管や油で汚れたゴム管はお早めにお取り替えください。



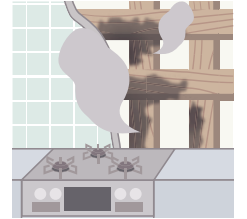
## ガス栓の安全チェック

- 使用していないガス栓には必ずガス栓キャップを取り付けてください。
- ゴム管が外れたりすると自動的にガスが止まるヒューズガス栓のご使用をおすすめします。

設備など…1年に1回以上設備専門員の点検をうけることをおすすめします

## 壁との離隔は十分ですか

- 壁の表面がステンレスやタイル張りでも、下地が可燃性材料の場合、伝熱火災の原因になることがあります。



## フードの中も点検

- フード内についた油滴やほこりはダクト内火災の原因になります。こまめに掃除をしてください。
- フード内のグリスフィルターは表面がきれいでも、裏面は油などが詰まっている場合があります。



## 油受け皿・給気フィルターのお手入れを

- 厨房排気フード・ダクトに接続された湯沸器の機器上部の油受け皿、機器前面の給気フィルターは、定期的(月一回程度)に取扱説明書に従って、掃除をしてください。



## ガス管は腐食してませんか

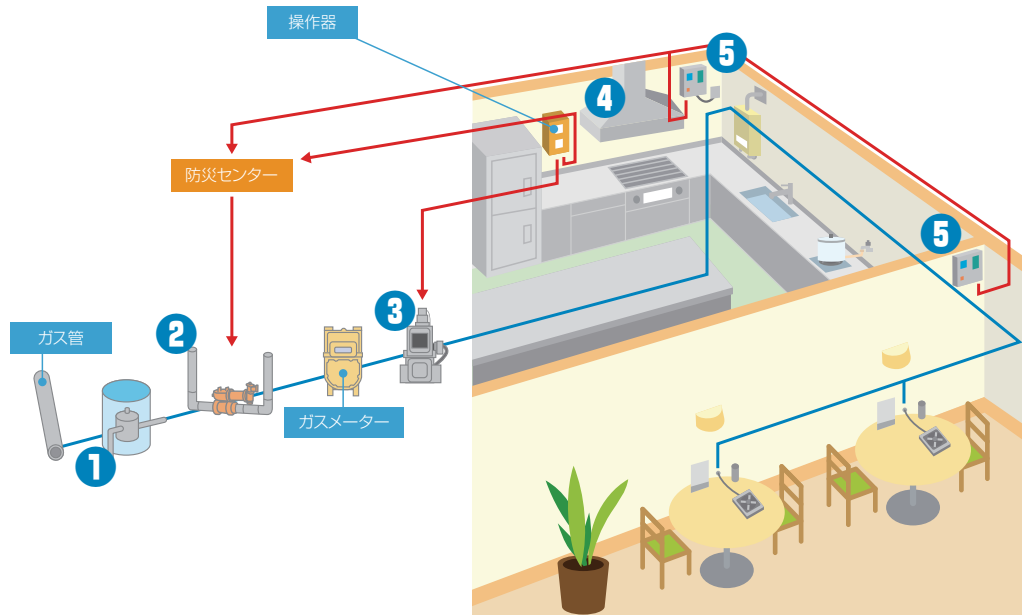
- ガス管が腐食していないかときどき点検をお願いします。ガス管は調理の際の水分や塩分・酸が付着して腐食しやすくなります。スノコを敷いている場合は、ときどきスノコを上げて、ガス管を点検してください。

スノコ下のガス管

## 建物・施設等の改築工事の際は

- 建物や施設等の改装や電気・水道・下水工事を行う時は、岡山ガスへご連絡ください。工事の際は、ガス設備に十分注意するよう、お願いします。
- 改装および工事完了後、ガス設備の点検・調査を希望される場合は、岡山ガスへ依頼してください。

# 業務用ガス安全システム



## 安全設備などは、ときどき作動点検を

- ガス警報器は正しい位置に取り付けられていますか。
- ガス警報器やガスを自動しゃ断する安全装置などを、ときどき作動点検されていますか。
- 建物内の各テナントの方は、建物全体の安全設備についても、その設置場所や機能を確認、いざというときのために、操作方法や避難方法の訓練をしておきましょう。

## 1 引込み管ガスしゃ断装置



ガス漏れなど、緊急事態が起こったとき、地上からの操作により建物全体のガスをしゃ断する大切な装置です。  
上部に物を置いたり、埋めたりしないようふだんからの日常管理をお願いします。

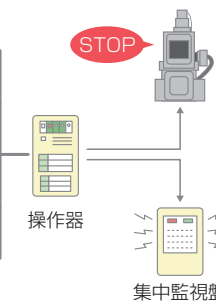
## 2 緊急ガスしゃ断装置

ガス漏れや火災など、緊急事態が起こったとき、防災センターや守衛室などに設置された集中監視盤からの遠隔操作で、建物全体のガスの供給をすぐにしゃ断できる装置です。

## 3 業務用自動ガスしゃ断装置

閉店後などにメーターガス栓を閉める代わりに、ボタン操作だけでしゃ断弁を開閉できる装置です。

- ガス漏れ警報しゃ断
- 感震器連動しゃ断
- ガス圧低下しゃ断
- 漏えい検査機能
- 消火装置連動しゃ断

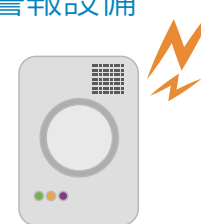


また、内蔵した安全機構によりしゃ断弁を開けると、ガス栓やガス機器のつまみなどが間違っ開いていないか、自動的に確認するもので、ガス漏れ事故を未然に防ぐことができます。建物内のテナントごとの、設置をおすすめします。

## 4 簡易自動消火装置

フード内などで火災が発生した場合に、自動的に消火する装置です。

## 5 ガス警報器・警報設備



- 万一屋内でガス漏れが起きた場合、漏れたガスをすばやく検知して知らせるガス警報器や警報システムの設置をおすすめします。
- 警報システムは、防災センターなどにガス漏れの発生場所を表示するとともに、警報音で周囲の人々にも警報します。
- 特定地下街等及び特定地下室等ではガス漏れ警報設備が、超高層建物、特定大規模建物及び中圧の設備を有する建物ではガス警報器または自動ガスしゃ断装置の設置が、法令で義務付けられています。



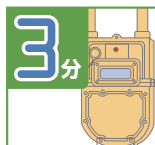
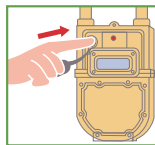
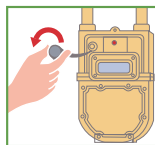
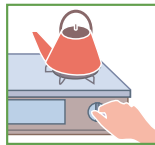
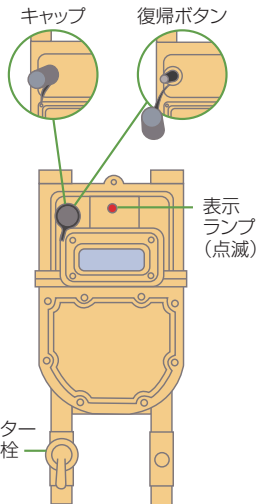
# マイコンメーターで ガスが止まったとき

## 警告

ガス漏れの疑いもありますので、ガス臭くないか十分確認してください。ガス臭いときは「裏表紙」に示してあるとおり、すぐに岡山ガスへご連絡ください。

- ガス臭くない時(ガス漏れ以外の原因の時)は、復帰の手順に従って操作してください。
- ガスが止まって、マイコンメーターの赤ランプが点滅している場合は、左下に示したような原因が考えられます。

## 復帰の手順



1. 器具栓を閉じるか、運転スイッチを切り、すべてのガス機器を止めてください。屋外の機器も忘れずに。使っていないガス栓は閉まっていることを確認してください。この時メーターガス栓は閉めないでください。

2. 復帰ボタンのキャップを手で左に回し、キャップを外してください。

3. 復帰ボタンを止まるまでしっかり押し、表示ランプが点灯したらすぐ手を離してください。キャップは必ず元通りに取り付けてください。

4. 約3分間お待ちください。この間にガス漏れがないか確認していますので、ガスを使わないでください。3分経過後に、再度ガスメーターをご確認いただき、赤ランプの点滅が消えていれば、ガスが使えます。

マイコンメーターは、こんな時にガスをシャ断します。(赤ランプが点滅します)

- 地震(震度5程度以上)
  - 多量のガス漏れ
  - 機器の長時間使用
- ※お湯の沸かしすぎや、鍋が焦げるのを防止するものではありません。

※3分経過後も、ガスが止まったままで赤ランプが点滅している場合は、ガス機器の止め忘れやガス漏れが考えられますので、もう一度ガス栓の閉め忘れやガス機器の止め忘れがないか確認してください。

※正常に復帰しない場合や、不明な点がある場合は岡山ガスへご連絡ください。

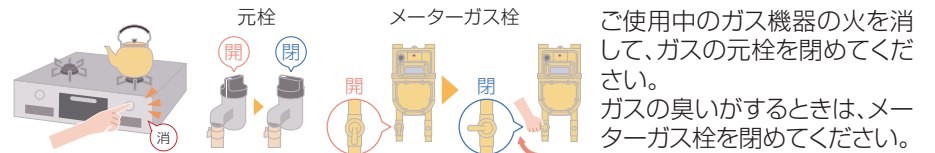
# 大きな地震のとき

## ① まずは身の安全を確保しましょう

まずは机の下に身を隠すなどをしてください。あわてず落ち着いて行動しましょう。



## ② 揺れがおさまったらガスの火を消してください



ご使用中のガス機器の火を消して、ガスの元栓を閉めてください。ガスの臭いがするときは、メーターガス栓を閉めてください。

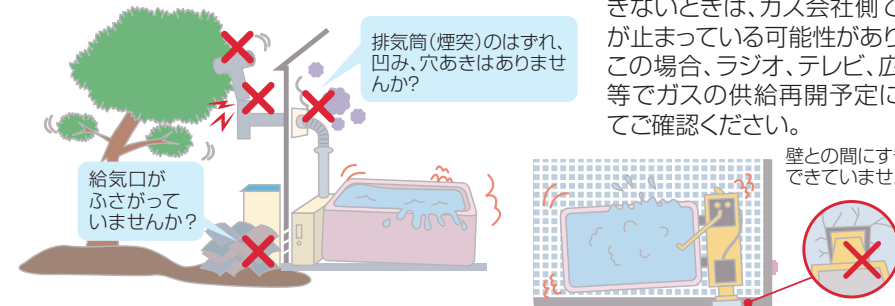
## ③ 地震のあと、ガスをふたたび使うとき

次のことを確認してください。

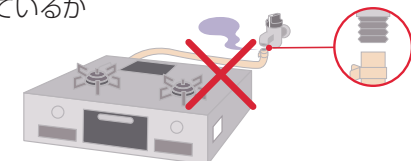
- ガス機器周辺でガスの臭いがしないか
- ガス機器本体に変形・破損など異常がないか
- 煙突式などの屋内外の給排気設備に異常がないか(はずれ・凹み・穴あきがないか目視で確認してください。)

●ガスが出ないときはマイコンメーターで止まっている可能性があります。赤い表示ランプの点滅を確認し、復帰操作(左のページ参照)を行ってください。

●正しい復帰操作をしても復帰できないときは、ガス会社側で供給が止まっている可能性があります。この場合、ラジオ、テレビ、広報車等でガスの供給再開予定についてご確認ください。



- ガス接続具が正しく接続されているか(接続具にはずれがないか)目視確認してください。



●異常を確認した場合は、火災や一酸化炭素(CO)中毒など、事故の恐れがありますので、岡山ガスへ連絡してください。

●ガス機器を使用していて目がチカチカしたり、気分が悪くなったり、不快な臭いがした場合は、ただちにガス機器の使用を中止し、修理の手配をしてください。

# ガス設備の所有区分

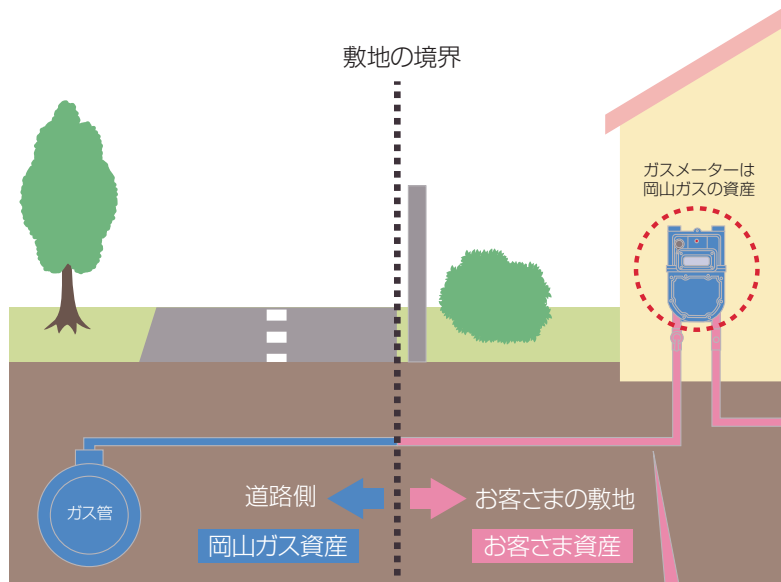
●敷地内のガス設備(ガス管やガス栓など)は、お客さまの大切な所有物です。ガス設備の修理、お取り替えは有償となります。

※ガスメーターおよび敷地外のガス設備は、岡山ガスの所有物です。(サブメーターを除く)

※ガスメーターは計量法に基づき検定満期(7年または10年)前にお取り替えをします。

ガスメーターの交換にお伺いの際には、ご協力をお願いいたします。

ガスメーターの交換に際してお客さまに費用をご請求することはありません。

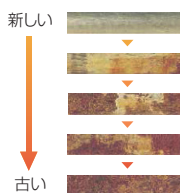


## おすすめします 古くなったガス管のお取り替え

土の中に埋められた亜鉛メッキ製のガス管(白ガス管)は、年月の経過とともに腐食が進行しガス漏れに至ることがあります。

岡山ガスでは、「腐食・地震に強いガス管」へのお取り替えをおすすめします。

ガス管の腐食状況(例)



交換

場所に合わせ  
最適なガス管に  
お取り替えします。

PE(ポリエチレン)管



PLP(ポリエチレン被膜)鋼管



※改装や敷地内を掘る工事をされる時は、ガス管の損傷事故防止のため、岡山ガスへご連絡ください。

# 安全点検ご協力のお願い

## ガス設備安全点検とは

ガス設備安全点検とは、お客さまにガスを安全にお使いいただくために、ガス事業法等に基づいて、ガス配管の漏えい検査、給排気設備(ガス風呂がま・ガス給湯器)などの調査にお伺いするものです。

ガスを安全に安心してお使いいただくために、必ずガス設備安全点検をお受けください。

ご訪問の際、お客さまから点検費用をいただくことはありません。

調査は  
4年に一度

すべての  
お客さまが  
対象  
※1

点検費用は  
無料  
※2

立ち会いが  
必要  
※3

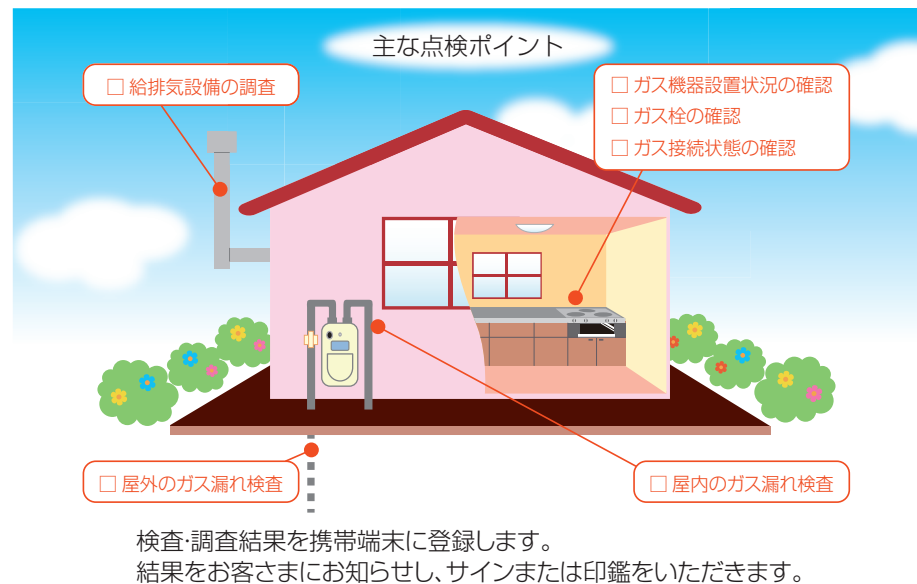
所要時間は  
10~15分  
※4

※1 岡山ガスまたは他のガス小売事業者とガスの使用契約のあるお客さま全てが対象となります。

※2 設備改善や修繕の必要がある場合、その費用はお客さまのご負担となります。

※3 点検当日は、お客さま宅の屋内に入り点検をさせていただくため、立ち会いが必要です。(お客さまご使用のガス設備によって、屋外のみ点検になる場合もあります。)

※4 所要時間はお客さまのガス設備により異なります。



### 安全点検に関するお問い合わせは

- 岡山ガス株式会社 岡山地区 (岡山市・玉野市・赤磐市) ☎086-272-3111  
倉敷地区 (倉敷市・総社市・早島町) ☎086-422-2750
- 岡山ガステクノサービス株式会社 (点検会社) ☎086-244-3838

# 長期使用製品 安全点検制度

平成21年4月以降に特定保守製品をご購入のお客さま

または「長期使用製品安全点検制度」の対象となります。

## 長期使用製品安全点検制度とは

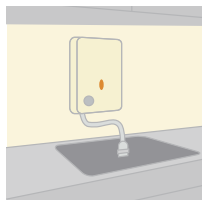
〈平成21年4月以降に特定保守製品をご購入のお客さまへ〉

製品が古くなると、部品が劣化(経年劣化)し、火災や死亡事故を起こす恐れがあります。「長期使用製品安全点検制度」では、経年劣化による重大事故発生の恐れが高い製品を特定保守製品とし、安全に使うための目安となる設計上の標準使用期間を設けています。当該製品を購入の際、メーカーに所有者登録をすることで標準使用期間の終わる頃に点検通知が届きますので、安全に使うために点検を受けてください(点検には料金がかかります)。

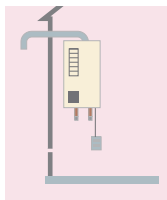
下記の対象製品(特定保守製品)をお持ちのお客さまは、所有者登録をしましょう

〈特定保守製品には、機器本体またはリモコンに「特定保守製品」と表示されています〉  
所有者登録にご不明な点がございましたら特定製造事業者(メーカー)にお尋ねください。

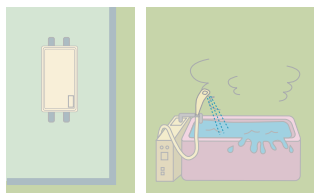
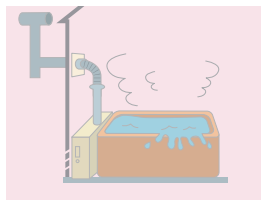
屋内に設置されているガス瞬間湯沸器及びガスバーナー付きふろがまが対象となります



開放燃焼式 ガス瞬間湯沸器



半密閉燃焼式 ガス瞬間湯沸器及びガスふろがま



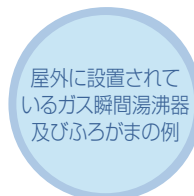
密閉燃焼式

ガス瞬間湯沸器(暖房機能付き含む ※1)及びガスふろがま ※1 平成23年7月以降に製造された商品に限る

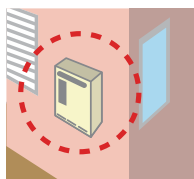
ガス製品を安心して長くご使用いただくために、法定点検の他に定期的な点検をお勧めします。

上記のほか、屋外に設置されている製品や平成21年4月より前に購入された特定保守製品も点検可能です。詳しくはメーカーなどにお尋ねください。

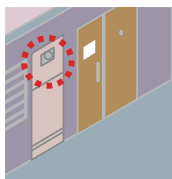
(製品によっては、点検結果で整備が必要な場合に整備用部品がない場合があります。)



屋外に設置されているガス瞬間湯沸器及びふろがまの例



戸建住宅は外壁に設置しています。



マンション等ではメーターボックス内に設置しています。

※特定保守製品には、電気製品や石油製品もあります。詳しくはメーカーへお尋ねください。

電気製品：ビルトイン式電気食器洗機、浴室用電気乾燥機

石油製品：石油給湯器、石油ふろがま、FF式石油温風暖房器

## 購入から点検までの流れ

- 1 販売者から\*点検制度についての説明を受けます  
\*工務店、不動産販売業者の場合もあります
- 2 所有者票を返送します(所有者登録)
- 3 点検時期が来たら通知が届きます
- 4 点検を依頼します  
\*点検には料金がかかります
- 5 点検を受けます

「長期使用製品安全点検制度」はメーカーに登録された所有者へ点検時期をお知らせして点検を促すことで事故を防止するための制度です。所有者票を返送し、登録しましょう。点検時期が来たら点検を受けましょう。

※所有者登録をいただいた情報は、点検通知、リコール等の製品安全に関するお知らせに使用いたします。

点検時期の通知を受けるためには、所有者情報の正確な登録が必要です。登録が済んでいない場合や変更が必要な場合には早めにメーカーにお知らせください。

※賃貸住宅・アパートなどで製品を家主さまが設置・所有している場合には、家主さまが所有者登録・点検のお申し込みをしてください。

特定製造事業者	連絡先
(株)ガスター 点検センター	☎0120-642-109
(株)世田谷製作所 営業部管理課	☎03-3707-5531
(株)タイハイ 本社	☎0256-92-7788
パーパス(株) 点検受付センター	☎0120-323-884
(株)長府製作所 点検連絡窓口	☎0120-921-971
(株)ノーリツ コンタクトセンター	☎0120-911-026
(株)ハーマンコンタクトセンター	☎0120-38-8180
(株)パロマ お客さまセンター	☎0120-378-860
モリタ工業(株) サービス課	☎0120-446-252
リンナイ(株) 保守点検コールセンター	☎0120-493-110
大阪ガス(株) お客さまセンター	☎0120-0-94817
東京ガス(株) お客さまセンター	☎03-3344-9199
東邦ガス(株) 特定保守製品点検センター	☎0120-872-909

お持ちのガス機器のメーカーが上記連絡先がない場合には、以下にお問い合わせください。  
一般社団法人 日本ガス石油機器工業会  
☎03-3252-6101

この制度のお知らせホームページ

[http://www.meti.go.jp/product\\_safety/consumer/system/01.html](http://www.meti.go.jp/product_safety/consumer/system/01.html)

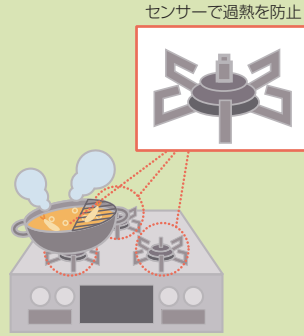
経済産業省またはお近くの経済産業局にお問い合わせください。

●経済産業省商務流通グループ製品安全課 ☎03-3501-4707(直) ●中国経済産業局産業部消費経済課製品安全室 ☎082-224-5671(直)

## おすすめします、安全型機器

### Si 全ロセンサー搭載 センサーコンロ

現在製造されているガスコンロは、すべてのバーナーに、煮こぼれや点火ミスなどで火が消えたときにガスをストップする立ち消え安全装置、天ぷら油の温度が約250℃になると、ガスを止め火災を防止する調理油過熱防止装置、消し忘れ消火、早切れ防止機能など、安全便利機能を搭載しています。



### ●不完全燃焼防止装置付ガスファンヒーター

フィルターの目詰まり等で新鮮な空気が不足したら、異常を検知し自動的にガスを止めます。不完全燃焼防止装置付の機器でも、お使いになるときは必ず換気をしてください。



## ガス機器が故障したときは

### ●ガス機器が故障したときには、まず取扱説明書をお読み下さい。

<原因によっては、ご自分で直せる場合があります>  
乾電池の消耗、電気プラグの外れ、マイコンメーター作動によるガスシャ断、ガス栓が閉まっている、コンロのバーナーキャップの目詰まり、など。

### ●修理が必要な場合は、最寄りのサービスショップまたは岡山ガスへご連絡ください。

### ●修理ご依頼の際には、ガス機器のメーカー名、型式および故障の状態(エラー番号)などをできるだけ詳しくお知らせください。

《修理費の内訳》 ※修理費には消費税が加算されます

$$\text{修理費} = \text{出張費} + \text{修理技術料} + \text{部品代}$$



# ガス工事・ガス機器の購入・取替等のお申し込みは

## ガス工事・ガス機器の購入・取替など

お申し込みは本社・営業所・サービスショップ等で承ります。担当の係員がお伺いします。(設計、見積りは無料です。) 設計・施工をするために余裕を持ってお早めにお申し込みください。

### 岡山ガス株式会社

- 本社 岡山市中区桜橋2-1-1 ☎086-272-3111
- 倉敷営業所 倉敷市中央1-27-20 ☎086-422-2750
- 赤磐営業所 赤磐市桜が丘西9-24-1 ☎086-955-0229

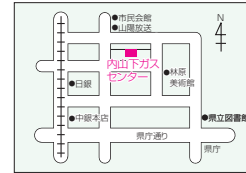
岡山ガスショールーム  
**アスパラガス**  
Special cooking space

岡山市北区下石井2-2-5  
ニッセイ岡山スクエア1F  
☎086-223-5195  
営業時間 9:00~18:00  
休 館 日 毎週水曜日  
お盆(8/15)・年末年始(12/30~1/3)  
※駐車場はありません。公共の交通機関をご利用いただくか、近隣の有料駐車場をご利用ください。

### 岡山ガスのサービスショップ

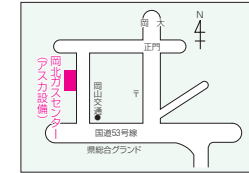
#### 内山下ガスセンター

岡山市北区丸の内2-9-2 第二岡崎ビル2F  
☎086-237-0700



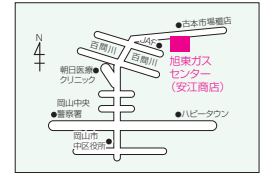
#### 岡北ガスセンター

岡山市北区津島新野2-7-23  
☎086-253-9111



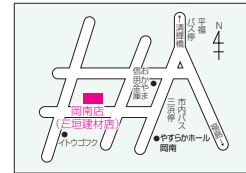
#### 旭東ガスセンター

岡山市中区糧140-5  
☎086-273-3311



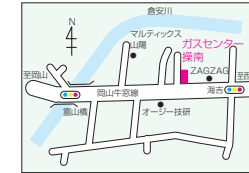
#### 岡南店

岡山市南区三浜町1-9-10  
☎086-263-2291



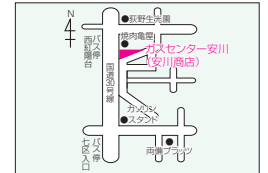
#### ガスセンター操南

岡山市中区海吉1833-7  
☎086-274-9955



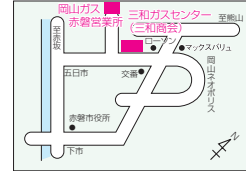
#### ガスセンター安川

岡山市南区西紅陽台2-58-465  
☎086-362-4500



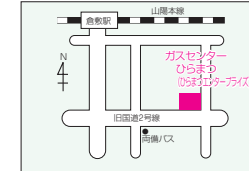
#### 三和ガスセンター

赤磐市桜が丘西10-28-26  
☎086-955-7055



#### ガスセンターひらまつ

倉敷市昭和1-2-22  
☎086-423-2233



# ガス臭いと感じたとき

- ガス警報器が作動したり、ガス臭いと感じたときはすぐ岡山ガスへご連絡ください。



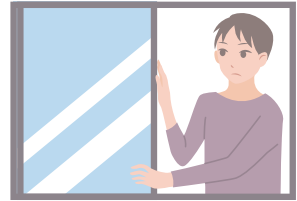
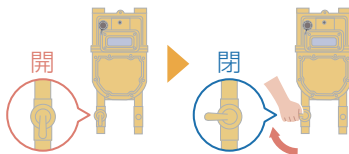
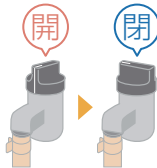
**火気は厳禁です!**

着火源となりますので、換気扇や電灯などのスイッチに触らないでください。

火気厳禁



- 窓や戸を大きく開けてください。
- ガス栓やメーターガス栓を閉めてください。



- お名前、ご住所、ご近所の目標、その場の状況をお知らせください。

**岡山ガス緊急連絡先**

岡山地区 (岡山市・玉野市・赤磐市)

☎086-272-3111

倉敷地区 (倉敷市・総社市・早島町)

☎086-422-2750

おすすめします、ガス・CO警報器

万一のガス漏れや不完全燃焼による一酸化炭素(CO)の発生を、ランプと警報音でお知らせします。火災警報機能付きもあります。



※警報器の有効期限は5年です。期限が過ぎる前に岡山ガスまたは最寄りのサービスショップに連絡し、交換しましょう。

岡山ガスの主な保安体制

- ① 365日・24時間保安体制  
ガス漏れ、ガス事故等の緊急時に備えて、係員と緊急車が常時待機しています。
- ② 安全点検 (法定)  
法令に基づき、定期的にお客さま宅にお伺いし、ガス漏えい検査や給排気設備等の調査などを行っています。(無料)